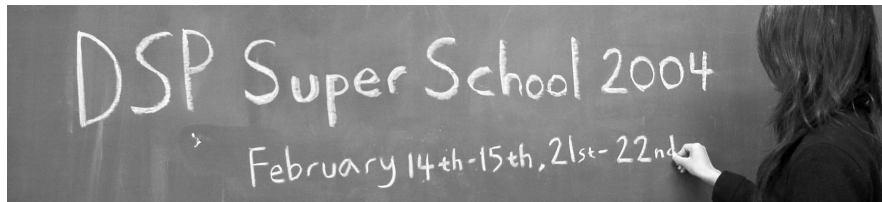


SuperCollider に耽溺する 4日間



Text:赤松正行



既におなじみのDSPスクールが今年も開催される。CYCLING'74 MSP/Jitterをいち早く紹介し、コンピューターを使った芸術表現の最先端を示してきたこのイベント。今回は『DSPスーパースクール2004』と題し、SuperColliderをテーマに岐阜県大垣市IAMASでの開催となる。さらに今回は受講料無料！新しい音楽表現の可能性に触れる絶好のチャンスだ！

サマースクールからスーパースクールへ

DSPサマースクールは、デジタル信号処理(DSP)による表現を中心としたレクチャーとワークショップ、コンサートの場としてこれまで5回開催されてきた。最初の開催である1999年には、CYCLING'74のディヴィッド・ズィッカレリらを招聘し、リアルタイム音響プログラミング環境MSPを紹介。これが後のエレクトロニカや音響系(などの一部)へと発展する礎となった。その後もプログラマーからアーティストまで多彩なゲストの参加を得て、好評のうちに開催を続けることができた。2002年には、ジョシュア・キット・クレイトンを招き、リリースと同時に(従って世界初の)Jitterワークショップを開いた。JitterはMax上でビデオ映像処理などを可能にする拡張機能ソフトで、DSPテクノロジーが音楽に留まらないことを示した好例であった。

そして今回、『サマースクール』とは一線を画して『スーパースクール』を開催する。名称を変更した理由は、2週間にわたるもの土日の午後でのみの開催で、受講料無料(!)、事前申し込み不要、定員制限なし、というライト感覚だからだ。これにより参加しやすくなり、実際に多くの方に足を運んでいただけると期待している。とはいえ、会場の収容人数を超えた場合はお断りせざるを得ないので、早めの来場をお勧めしたい。

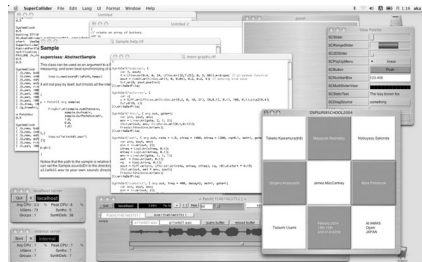
ターゲットはSuperCollider

“ライト感覚”と書いたが、実はターゲットはSuperColliderであって、かなりヘビーな内容になりそう。SuperColliderはテキストで記述するオ

ブジェクト指向言語であり、プログラミング経験が無い人は、途方に暮れること請け合いだ。しかし、だからこそこの“スーパースクール”なので、ぜひともトライしてほしい。プログラミング習得の壁さえ乗り越えれば、SuperColliderが備える極めて豊富な音響合成機能と柔軟な音楽記述能力によって、素晴らしい可能性が広がるはずだ。また、音が良いと一般に言われるように、その繊細で特徴的な音質も見逃せない。さらには、複雑なルーティングを可能にするノード・パス方式や、分散処理を可能にするシンセシス・サーバー方式など、先進的な機能にも注目したい。

この魅力的なSuperColliderをテーマとして扱うに際し、講師として迎えるのは、ざぼりオリジナル開発者であるジェームス・マッカートニー氏。SuperColliderがオープンソース・プロジェクトとなった現在も、開発チームの中心的存在として活躍している。従って、どんなにハイエンドな質問でも答えてくれるのはもちろんだが、開発秘話や洗練されたテクニックなども紹介してくれそう。もう一人の海外招聘講師であるマーク・ポリシュック氏も重要な活動をしている人物。大学でSuperColliderによる作曲の教鞭を取っている経験を生かした、分かりやすいレクチャーをお願いしている。英語での講義を懇念する人も多いと思うが、ご心配無用。以前にも素晴らしい通訳をしていただいた小林茂氏や、ミルズ大学に留学してSuperColliderにも精通している宇佐見理氏に、レクチャーのパイプ役をお願いしている。

そして、日本人講師の一人、かわむらたけこ(tn8)氏は、インターネットでSuperColliderに関する日本語情報を提供し、日本各地でのワークシ



▲ SuperCollider 3

ョップを展開している。その成果がスーパースクールでも披露されるだろう(彼女がプレゼントしたSuperColliderコードの刺繍入り靴下を履いて、マッカートニー氏が某果物コンピュータ社の面接を受けたエピソードも有名だ)。サマースクールではおなじみのノイマンピアノ(赤松正行+佐近田展康)も、レクチャーに飽き足らず、“DSP大喜利”を企てている。与えられたお題に対して即興的に作成したプログラムの出来を競うという趣旨だ。SuperColliderやMaxだけでなく、NATIVE INSTRUMENTS Reaktor、Csound、SYMBOLIC SOUND Kyma、何でもOKなので、受講者の皆さんもぜひ参加してほしい。

さらには、詳細未定ながら講師を中心とするライブ・イベントも企画している。SuperColliderに付属するサンプルで、センス抜群のコードを披露しているマッカートニー氏や、ジャズ・ピアニストでもあるポリシュック氏がどのような音楽を聴かせてくれるか、興味は尽きない。

……というわけで、2月は岐阜・大垣でお会いしましょう。

DSPスーパースクール2004 開催情報

会期：2月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)
いずれも13:00~18:00

会場：IAMAS
岐阜県大垣市領家町3-95

URL：dspss.iamas.ac.jp
SuperCollider 3 (Mac OS X用)
sourceforge.net/projects/supercollider/
SuperCollider 2 (Mac OS 9用)
www.audiosynth.com

講師：



ジェームス・マッカートニー



マーク・ポリシュック



かわむらたけこ(tn8)



佐近田展康



赤松正行

▼
他にも予定

同時開催 おおがきビエンナーレ2004

スーパースクールの会場となるのはIAMAS(岐阜県立情報科学芸術大学院大学・国際情報科学芸術アカデミー)。実は、スーパースクールはIAMASの公開講座という位置付けで、同校が企画する「おおがきビエンナーレ」の同時開催イベントとなっている。このビエンナーレでは、ワークショップ、シンポジウム、展覧会など多彩なプログラムが満載。特にワークショップでは、ジャン＝ルイ・ボワシエ氏(パリ第8大学)やパウロ・ローザ氏(スタジオ・アツェーロ)らの指導のもと、一般市民が参加して作品を制作することになっている。単に来来合いの作品を並べるだけではないダイナミックな展開になりそうだ。

会期：2月21日(土)~3月7日(日)

会場：岐阜県大垣市内各地
(ソフトピア、大垣城周辺、他)

URL：www.iamas.ac.jp/biennale04/